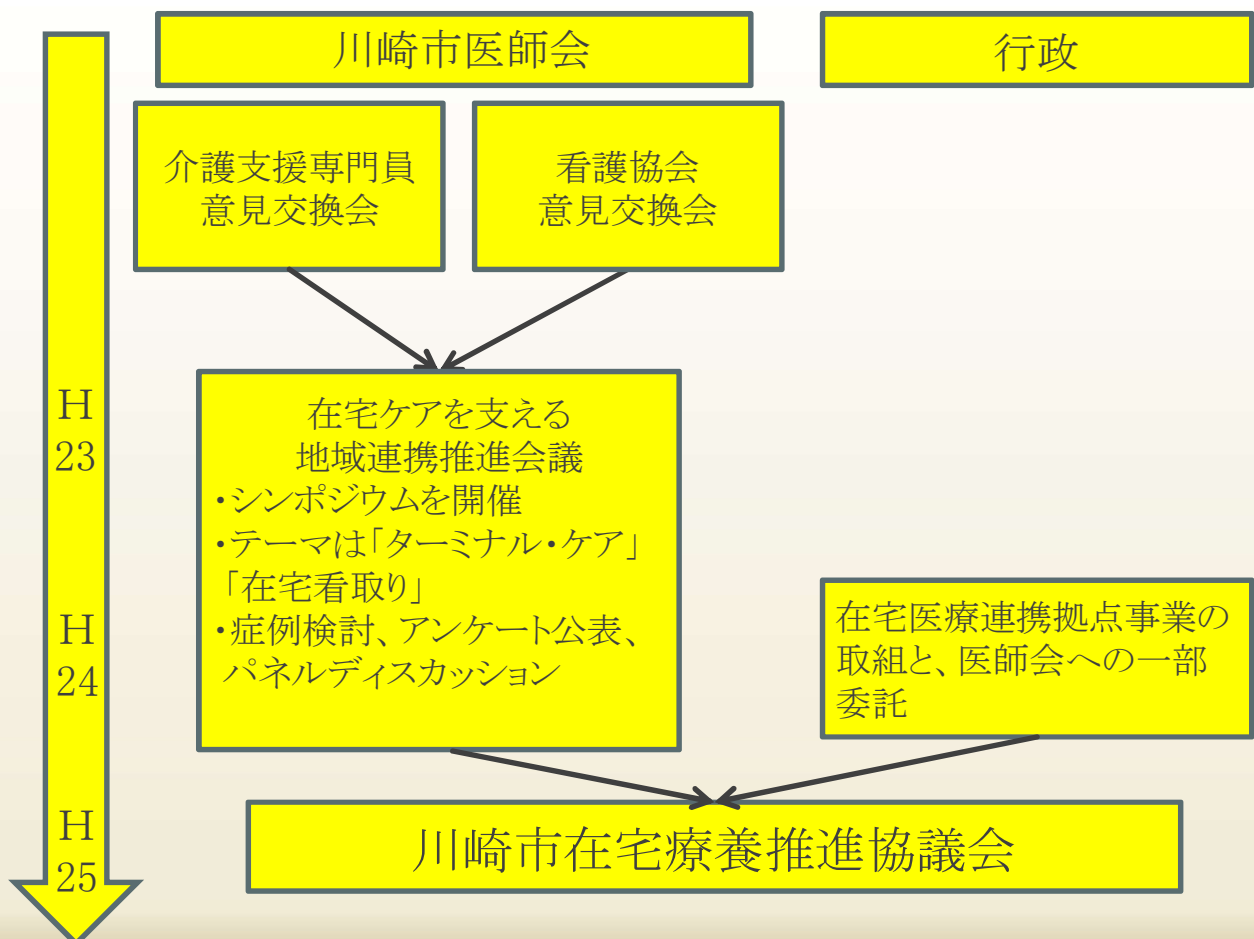


在宅医療と 多職種連携

川崎市医師会
2014・10・29



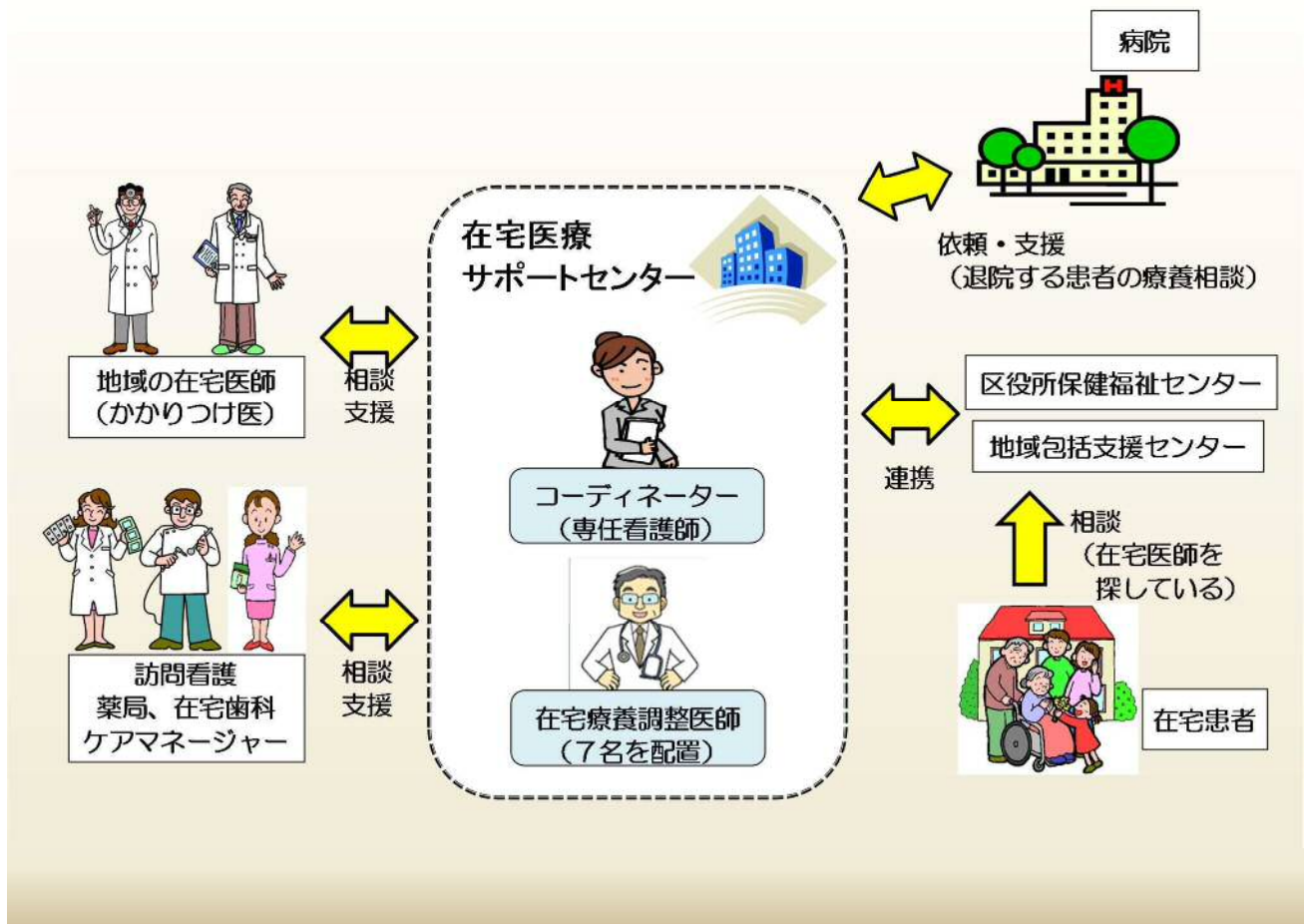
川崎市在宅療養推進協議会

目的:在宅医療関連団体の代表者からなる協議会を組織し、**多職種による連携強化**、在宅療養患者に対する一体的な**支援体制の構築**に向けた協議を行う。

参加団体:医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、介護支援専門員連絡会、MSW(医療社会事業協会)、地域包括支援センター、行政(医療政策推進室、地域包括ケア推進室)

平成25年度事業

- 在宅チーム医療を担う**地域リーダー研修**
- 在宅医療連携ツール策定事業
 - (1) **在宅療養調整医師**の配置
 - (2) **在宅医療資源ガイドブック**の策定
 - (3) **在宅医療連携ノート**の策定
- **患者向けリーフレット**の策定



地区在宅療養推進協議会 幸区が多職種連携＝ネットワーク・これ幸

介護支援専門員連絡会・歯科医師会・薬剤師会・
訪問看護ステーション・地域包括支援センター・
MSW・民生委員、行政職員

平成24年度：「お互いの役割を知ろう」

平成25年度：地域包括ケアシステムに関する講演会とグループディスカッション

平成26年度：市民公開講座と多職種によるグループディスカッション

地域における個別の取組

- 市民啓発
地域包括支援センターと連携した出前講座
- 多職種による検討会への参加
地域包括支援センターが中心となり、介護支援専門員、看護師、MSW、居宅サービス提供者を対象とした検討会
- 在宅主治医の負担軽減
地域医療支援病院との連携による主治医不在時のバックアップ

今後の課題

- 医師の問題
人材育成と24時間365日対応
負担軽減とバックアップ
往診する診療所は120か所では不十分？
- 行政の問題
役所の対応と縦割りの弊害
モデル事業への取組